



津波注意報発令中の下校対応を追及

解除予定の情報により安全確保に配慮

12月定例会は12月5日から19日まで、15日間の会期で開催されました。

初日には、市長報告と当局による提案理由説明が行われ、15日から始まった一般質問では、13名の議員が登壇し、市政課題について活発な議論が交わされています。

最終日には市長提出議案5件が追加提案され、今定例会に提出された市長提出議案26件は、全て原案どおり承認・可決されました。

また、議員提出議案1件及び請願の採択に伴う委員会提出議案2件も原案どおり可決されています。

12月定例会では、教育行政、公共下水道事業、ラグビーワールドカップ招致、クマなどの鳥獣被害対策等について質問がありました。

津波注意報発令中の児童生徒の下校対応については、津波注意報解除予定の情報を読まえた判断であったことが説明され、安全確保を最優先とした対応であるとの認識が示されました。

公共下水道事業については、施設の維持管理の現状や使用料見直しの可能性、老朽化の実態、さらには将来を見据えた事業ビジョンについて議論が行われました。

老朽化が進行する下水道施設の維持管理や、熟練技術者の退職に伴う人材不足といった課題に対しては、DXの導入や運転管理の高度化が有効な対応策の一つと捉えられています。

その具体策として、パソコンや携帯電話にメールで通知する「異常通報システム」を導入し、これにより24時間体制の宿直業務を廃止する運用へと移行していきます。さらに将来的には、ウォーターPPP（民間のノウハウや創意工夫を活用し、施設の管理・更新等を行う官民連携方式）の導入を検討しているとの説明がありました。

令和7年度釜石市魚市場の上半期水揚げ状況について、水揚げ総額が昨年度比

は、D Xの導入や運転管理の高度化が有効な対応策の一つと捉えられています。

その具体策として、パソコンや携帯電話にメールで通知する「異常通報システム」を導入し、これにより24時間体制の宿直業務を廃止する運用へと移行していきます。さらに将来的には、ウォーターPPP（民間のノウハウや創意工夫を活用し、施設の管理・更新等を行う官民連携方式）の導入を検討しているとの説明がありました。

令和7年度釜石市魚市場の上半期水揚げ状況について、水揚げ総額が昨年度比

は、D Xの導入や運転管理の高度化が有効な対応策の一つと捉えられています。

その具体策として、パソコンや携帯電話にメールで通知する「異常通報システム」を導入し、これにより24時間体制の宿直業務を廃止する運用へと移行していきます。さらに将来的には、ウォーターPPP（民間のノウハウや創意工夫を活用し、施設の管理・更新等を行う官民連携方式）の導入を検討しているとの説明がありました。

令和7年度釜石市魚市場の上半期水揚げ状況について、水揚げ総額が昨年度比

は、D Xの導入や運転管理の高度化が有効な対応策の一つと捉えられています。

その具体策として、パソコンや携帯電話にメールで通知する「異常通報システム」を導入し、これにより24時間体制の宿直業務を廃止する運用へと移行していきます。さらに将来的には、ウォーターPPP（民間のノウハウや創意工夫を活用し、施設の管理・更新等を行う官民連携方式）の導入を検討しているとの説明がありました。

令和7年度釜石市魚市場の上半期水揚げ状況について、水揚げ総額が昨年度比

は、D Xの導入や運転管理の高度化が有効な対応策の一つと捉えられています。

その具体策として、パソコンや携帯電話にメールで通知する「異常通報システム」を導入し、これにより24時間体制の宿直業務を廃止する運用へと移行していきます。さらに将来的には、ウォーターPPP（民間のノウハウや創意工夫を活用し、施設の管理・更新等を行う官民連携方式）の導入を検討しているとの説明がありました。

令和7年度釜石市魚市場の上半期水揚げ状況について、水揚げ総額が昨年度比

は、D Xの導入や運転管理の高度化が有効な対応策の一つと捉えられています。

その具体策として、パソコンや携帯電話にメールで通知する「異常通報システム」を導入し、これにより24時間体制の宿直業務を廃止する運用へと移行していきます。さらに将来的には、ウォーターPPP（民間のノウハウや創意工夫を活用し、施設の管理・更新等を行う官民連携方式）の導入を検討しているとの説明がありました。

令和7年度釜石市魚市場の上半期水揚げ状況について、水揚げ総額が昨年度比

は、D Xの導入や運転管理の高度化が有効な対応策の一つと捉えられています。

その具体策として、パソコンや携帯電話にメールで通知する「異常通報システム」を導入し、これにより24時間体制の宿直業務を廃止する運用へと移行していきます。さらに将来的には、ウォーターPPP（民間のノウハウや創意工夫を活用し、施設の管理・更新等を行う官民連携方式）の導入を検討しているとの説明がありました。

令和7年度釜石市魚市場の上半期水揚げ状況について、水揚げ総額が昨年度比

は、D Xの導入や運転管理の高度化が有効な対応策の一つと捉えられています。

その具体策として、パソコンや携帯電話にメールで通知する「異常通報システム」を導入し、これにより24時間体制の宿直業務を廃止する運用へと移行していきます。さらに将来的には、ウォーターPPP（民間のノウハウや創意工夫を活用し、施設の管理・更新等を行う官民連携方式）の導入を検討しているとの説明がありました。

令和7年度釜石市魚市場の上半期水揚げ状況について、水揚げ総額が昨年度比

は、D Xの導入や運転管理の高度化が有効な対応策の一つと捉えられています。

その具体策として、パソコンや携帯電話にメールで通知する「異常通報システム」を導入し、これにより24時間体制の宿直業務を廃止する運用へと移行していきます。さらに将来的には、ウォーターPPP（民間のノウハウや創意工夫を活用し、施設の管理・更新等を行う官民連携方式）の導入を検討しているとの説明がありました。

令和7年度釜石市魚市場の上半期水揚げ状況について、水揚げ総額が昨年度比

は、D Xの導入や運転管理の高度化が有効な対応策の一つと捉えられています。

その具体策として、パソコンや携帯電話にメールで通知する「異常通報システム」を導入し、これにより24時間体制の宿直業務を廃止する運用へと移行していきます。さらに将来的には、ウォーターPPP（民間のノウハウや創意工夫を活用し、施設の管理・更新等を行う官民連携方式）の導入を検討しているとの説明がありました。

令和7年度釜石市魚市場の上半期水揚げ状況について、水揚げ総額が昨年度比

は、D Xの導入や運転管理の高度化が有効な対応策の一つと捉えられています。

その具体策として、パソコンや携帯電話にメールで通知する「異常通報システム」を導入し、これにより24時間体制の宿直業務を廃止する運用へと移行していきます。さらに将来的には、ウォーターPPP（民間のノウハウや創意工夫を活用し、施設の管理・更新等を行う官民連携方式）の導入を検討しているとの説明がありました。

令和7年度釜石市魚市場の上半期水揚げ状況について、水揚げ総額が昨年度比

は、D Xの導入や運転管理の高度化が有効な対応策の一つと捉えられています。

その具体策として、パソコンや携帯電話にメールで通知する「異常通報システム」を導入し、これにより24時間体制の宿直業務を廃止する運用へと移行していきます。さらに将来的には、ウォーターPPP（民間のノウハウや創意工夫を活用し、施設の管理・更新等を行う官民連携方式）の導入を検討しているとの説明がありました。

令和7年度釜石市魚市場の上半期水揚げ状況について、水揚げ総額が昨年度比

は、D Xの導入や運転管理の高度化が有効な対応策の一つと捉えられています。

その具体策として、パソコンや携帯電話にメールで通知する「異常通報システム」を導入し、これにより24時間体制の宿直業務を廃止する運用へと移行していきます。さらに将来的には、ウォーターPPP（民間のノウハウや創意工夫を活用し、施設の管理・更新等を行う官民連携方式）の導入を検討しているとの説明がありました。

令和7年度釜石市魚市場の上半期水揚げ状況について、水揚げ総額が昨年度比

は、D Xの導入や運転管理の高度化が有効な対応策の一つと捉えられています。

その具体策として、パソコンや携帯電話にメールで通知する「異常通報システム」を導入し、これにより24時間体制の宿直業務を廃止する運用へと移行していきます。さらに将来的には、ウォーターPPP（民間のノウハウや創意工夫を活用し、施設の管理・更新等を行う官民連携方式）の導入を検討しているとの説明がありました。

令和7年度釜石市魚市場の上半期水揚げ状況について、水揚げ総額が昨年度比

は、D Xの導入や運転管理の高度化が有効な対応策の一つと捉えられています。

その具体策として、パソコンや携帯電話にメールで通知する「異常通報システム」を導入し、これにより24時間体制の宿直業務を廃止する運用へと移行していきます。さらに将来的には、ウォーターPPP（民間のノウハウや創意工夫を活用し、施設の管理・更新等を行う官民連携方式）の導入を検討しているとの説明がありました。

令和7年度釜石市魚市場の上半期水揚げ状況について、水揚げ総額が昨年度比

本会では、本会議及び各議員の報告や質問の録画を行います。



表紙写真を募集中です。

★応募先

gikaijimu@city.kamaishi.iwate.jp(＃を@に)

応募要項と詳細は→

